

■平成27年度 地方創生「大津町次世代チャレンジプロジェクト」の軌跡

私たちの約束

お客様に本物の“安心”“信頼”“おいしさ”を届ける。自分たちの産品に誇りと自信を持つ。作り手も Happy になる。

OZU-Mind
(Farm-to-Table)

OZU-Performance
(OZU-Method)

OZU-Nature, Culture, History
(ASO Oriented)

阿蘇の外輪山から流れ出す伏流水の豊かなところ、大津町。阿蘇の自然の恵みをいただきながら、先人の工夫と努力を引き継いだ独自の知恵で作上げた、本物の“安心”“信頼”“おいしさ”。丁寧に作り上げたものだけをお客様の食卓へ届けたいという大津町の想いをレベルに込めました。

① 未来新聞で見えてきた、町の特産品「からいも」への愛。それを生かすために何を大事に、どう取り組むのかを話し合う「いも愛のいも掘りセッション」を8月22日に開催。
【OZU-Heartブランド】構想にまとめました。



② 8月23日の大津地蔵祭では、プロジェクトに参加した「翔陽高校」と「ギャラリー&和カフェ水車物語」がコラボ。高校生が開発に着手した「からいもジャム」をかき氷の蜜にアレンジし、「芋蜜金時」として販売し好評でした。



③ その後、当初からの参加者と、新たな参加者を募り、対話を重ね、それぞれの店舗ごとに「からいも」の商品を作ることに。
そして、プロジェクト参加者が合同でキャンペーン企画を実施することが決定しました。



④ 「尾道空き家再生プロジェクト」を1月18日に「津屋崎ランチ」を2月15日にそれぞれ視察し、町にある資源を生かした「まちづくり」を勉強。大いに刺激を受けました。



【OZU-Heartブランド】構想に合うと実行委員会が認める物などにつける「ASOZU HEART」マーク



⑦ 畑に囲まれた農道を歩行者天国にして、3月13日に1日限りの「ozuこびとのいえcafé」を開催。プロジェクトから生まれた「からいも」を使ったスイーツやフード、からいも貯蔵庫に絵を描いた「こびとのいえ」などを来場者と一緒を楽しみました。



⑥ 「女子大生先行試食会(熊本県立大学)」を2月18日に開催しました。同大学の学生に試食してもらい、感想を聞き、商品の名前と告知のヒントをもらいました。



⑤ メンバーが試作中のからいもスイーツなどを2月1日に持ち寄り試食。次に開催する女子大生先行試食会に向け準備をしました。

もう一つの活動



空き家リノベーションチーム
空き家の活用を検討するため空き家・空き店舗の調査を実施しています。ボランティアで集まったメンバーが「ASOZU HEART」コンセプトによるリノベーションスタイルについて検討しています。



私たちが活動は始まったばかり、一緒に大津町を盛り上げる気持ちを持ち、挑戦を楽しめる仲間をお待ちしています。

農家として大津町の特産である「からいも」のありのままを伝えきれないことに焦りを感じて活動を始めた。年齢、職業など環境の違いが今は約30人。共通するのは大津町の良い面も悪い面も直視し、考えていることです。真剣だからこそ会議も白熱し、いつも良い刺激になります。「OZU-Heartブランド」はみんな育てるブランド。たくさんの人を選んでほしい、日常生活に少しの幸せをプラスできるような存在にしたいです。

リーダーに話を聞きました



次世代チャレンジプロジェクト実行委員会 リーダー
なか せ や す ゆ き
中瀬靖幸さん

見つめなおして
見えてくるもの

平成27年度の実質的な活動期間は4カ月ほどでした。参加者は完全ボランティア。町の賑わいにつながればという熱い思いで集まりました。まだ小さな一歩ですが、この思いを持った人達がいれば、今後新たな取り組みにもつながると感じさせてくれる確かな一歩もありました。「ASOZU HEART」のコンセプトに賛同してもらえる人は、私たちと一緒に活動してみませんか。

●問い合わせ
役場総合政策課 企画政策係
☎096(293)3118